



創立の背景と歴史

浦和ルーテル学院の名称は、16世紀ドイツの宗教改革者マルティン・ルター（Martin Luther）に由来します。ルターは信仰の自由と誠実さを求め、キリスト教を刷新しました。

その教えを受け継ぐアメリカ・ミズリー派・ルーテル教団(LCMS)により1953年(昭和28)、浦和の地に埼玉県初のミッションスクールとして、また埼玉県唯一の私立小学校として〈浦和聖望学園小学校〉が創設されました。1974年(昭和49)には、中学校と高等学校が併設され、12年一貫教育の理念確立とともに、〈学校法人浦和ルーテル学院〉として生まれ変わりました。

浦和ルーテル学院には創立者や歴代の理事長、校長の写真等の掲示は一切ありません。それはイエス・キリストによって創立されたと考えるからです。しかし、2004年(平成16)発行の『浦和ルーテル学院創立50周年記念誌』の中にその歴史を知ることができます。

浦和の地にどうしてもミッションスクール小学校が欲しいと願う3名の母の会幼稚園保護者の代表 田村千代は、ちょうどそのころYMCAから来られた母の会幼稚園2代目主任の澤井千恵子より「埼玉県にはキリスト教の小学校がないからみんなで運動してごらん」と言われたことに触発されます。

まず手始めにと、ある日、新宿区百人町にあった日本キリスト教矯風会に、女子学院先輩でキリスト教婦人運動の大立者であった久布白落実を訪ねて相談したところ「日本では望みはないが、アメリカではたくさん学校を持っているルーテル教会が目白にあります」と教えられ、その足で目白駅に降りて探しましたが見つかりません。翌朝「アメリカ・ミズリー派・ルーテル教会から教育熱心なウィリアム・J・ダンカー宣教師が来日された」という新聞の小さな記事に目が留まり、田村は飛び上がるほど驚きました。このとき神の啓示を感じたといいます。1949年(昭和24)春まだ寒い3月、田村は5歳の息子 允人を伴い和服で正装し、ダンカー宣教師を訪れ、懇願しました。

ダンカー宣教師は4月、浦和にある母の会幼稚園を訪れ「あなたがた母親の願いに協力しましょう。来年4月には小学校ができるように」と言いました。大地主の武笠敏は毎日のように乳母車を押しながら土地の懇願に来る母親たちの情熱に感動し、小口の地主たちの分も話をまとめ、学校用地として約2000坪をルーテル教団に用立ててくれました。その後、武笠は他の土地も無償で提供しています。実際には4年後に、4名の新入生、校長以下4名の教師により浦和聖望学園小学校はスタートしました。「教師を集め、児童も4名入学しました。母親たちも信頼できる人たちです。私の仕事はここまでです」と言って、田村は二度と表舞台には登場しませんでした。

当時を知る教師たちは、こう言います。「一般的に、創始者といえば母の会幼稚園保護者3名を。創業者といえば初代校長ロバート・ウェブ先生を。創立者といえばウィリアム・J・ダンカー宣教師、または彼の上司でLCMS議長のカップルマンを思い浮かべます」と。ウェブは「ありがとう」「ごめんなさい」「どうぞ」の大切さを説き、今でもそれは、浦和ルーテル学院に受け継がれています。

建学の精神

「神と人とを愛する人間 神と人とに愛される人間」

このことは聖書の次の言葉が基にあります。

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」

「隣人を自分のように愛しなさい」

(マタイによる福音書22章37節、39節)

創立

1945年(昭和20)敗戦とともに、浦和市は焼け出されて東京からやってきた人や、外地からの引揚者などで急激に人口が増加しました。浦和市本太地区(現在地)にも若い世代が増え始め、その子供たちも増加しましたが、この地区には幼稚園がありませんでした。

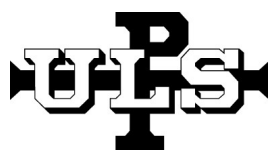
ある日の夜、隣組の寄合いで幼稚園が欲しいと願っている保護者が多いことに気づいた人々により、青空教室がスタートしました。その後、すべて父母の奉仕による材木バラックで〈母の会幼稚園〉が発足したのです。そのときに主任を務めたのが、近江ミッションの人でした。

当時、埼玉県にはキリスト教主義小学校はありませんでした。そこで3名の母の会幼稚園保護者がどうしても浦和の地に自分の子供を学ばせるミッションスクール小学校が欲しいと願い、運動を起こしたのが浦和ルーテル学院の始まりです。

その願いがかない1953年(昭和28)アメリカ・ミズリー派・ルーテル教団(LCMS:Lutheran Church Missouri Synod)の支援により、キリスト教伝道の一環としてこの地に〈浦和聖望学園小学校〉が誕生しました。

このとき、すでに埼玉県・飯能には聖望学園中学校、高等学校が誕生していました。開校時は、4名の入学生と校長以下4名の教師という極めて小さな学校でした。

当時LCMSでは小学校は浦和、中等高等学校は飯能と考えていたのですが、日本の交通事情はアメリカのそれとは大きく異なっていることに気づき、1974年(昭和49)、浦和の地に法人を新たに設けて浦和ルーテル学院が誕生し、小学校、中学校、高等学校を備えた12年一貫教育が成立することになりました。



浦和ルーテル学院 校章・マーク
浦和ルーテル学院は、主イエス・キリストによって建てられ、イエス・キリストと共にあることを意味します。

学校法人 浦和ルーテル学院

〒330-8563 埼玉県さいたま市浦和区駒場1-22-18

TEL: 048-886-5019 FAX: 048-887-6698